ちば里山新聞

（第82号）
編集発行　NPO法人ちば里山センター
袖ケ浦市長浦拓２号580-148
☎　0438-62-8895
題　　字　倉島　貴浩
（ワークホーム里山の仲間たち）

今年の８月、９月は本当に雨の脅威に脅かされたシーズンでした。被災した方々には心からお見舞い申し上げます。

安全研修会が開催されました

さる９月４日(金)、令和８年度に里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金を受け、里山の整備に取り組む活動団体を対象に安全研修会が行われました。


研修会の様子

講師は、里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザーの鶴見治さんです。今回は初めてこの交付金を受けて里山活動にチャレンジする団体を対象に、森林で活動する際の安全確保全般について学ぶことを目的として開催されました。

内容は服装や健康状態に関する注意点からはじまり、気象や野外の危険な動植物に関する知識、作業に伴う発生頻度の高い災害等、幅広い解説がありました。

また、作業道具に関しては刈払機やチェンソー等、一般的な道具の紹介と展示、注意点に加え、それらを使う際の講師独自の工夫も紹介されました。

このような初心者・初級者向けの解説に加え、特筆すべきは「リスクアセスメント」という考え方が紹介されたことです。この考え方は特に活動のリーダー的立場にある方に是非理解していただきたい考え方です。

言葉だけですとイメージしにくいのですが、「現場での危険な所を前もって見つけ出し、事前にそれがどれくらい危ないかを評価し、その評価の大きさに従ってきちんと手を打っておくこと」だそうです。紙面では紹介しきれませんが、里山での具体的な例についても解説がなされました。今後も機会がありましたら、このような考え方を身につけておくと現場の事故が防げると思われます。

＜リスクアセスメントとは＞　　※　講義資料抜粋

- 危険なところを前もって見つけ出し、事前にそれがどれくらい危ないか評価し、その評価の大きさに従ってきちんと手を打っておくことです。
- 災害の未然防止の科学的対処法といえるもので、「危険をよみ、危険の芽をつむ」ための効果的な手法です。
- リスクアセスメントを行うことで、危険に対して敏感になるため仲間を危険にさらすことがなくなります。

行事報告

８月～９月に里山センター関係で行われた行事は以下のとおりです。

〇令和８年度千葉県里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金
　事業説明会・・・・・８月２８日(金)、９月４日(金)
　安全研修会・・・・・９月４日(金)
〇第３回理事会・・・・・９月１８日(金)



「ありのまま」をおとずれて～里山探訪記～

今回おじゃましたのは、山武市内の谷津田でお米づくりをしている「ありのまま」さんの田んぼです。あいにくの長雨で泥に浸かった稲もあり、ドロドロになりながら人生初稲刈りを体験させていただきました！泥の中にしずまないように『あぜ板』と呼ばれるプラスチック板を足場にして移動しつつ鎌での刈り取り。いやーこりゃ大変だ、、と最初は思っていたのですが、泥ってなんていうか、、、テンション上がるんですね！楽し～い！刈り取った稲は束にして昔ながらのはざ掛けに。天日で干したお米はきっと美味しいことでしょう。

この日は天候の都合でスタッフのみの作業でしたが、どろんこになって遊ぶことが少なくなった昨今、子どもたちには是非体験してほしいと思いました。



泥の中での稲刈り



田植え時の様子

さて、こちらの田んぼは山武地域の素敵なシニアの集まる「自然めぐりし隊」が 20 年ほど活動していた谷津田でした。５年前から「ありのまま」が引き継ぎ、無農薬のお米づくりをしています。
周辺の湿地帯の草刈りや整備、マコモダケやクワイの収穫、季節ごとにオタマジャクシやホタルなどの生き物観察など、田んぼならではの作業やお楽しみがたくさん！「自然めぐりし隊」との多世代交流の場でもあり、みんなでつくる田んぼです。

そしてこの田んぼ活動は「ありのまま」では居場所事業の一環でもあります。代表の内田さんは自身の子育て経験をきっかけに、不登校やひきこもりの相談やフリースクール事業を始めたそうです。

団体名の通り、『そのままでいいんだよ』と自由に自分らしくいられる場をつくっていった先に、福祉＋市民活動＋里山の形になりました。

生きづらさを抱えた人も、そうでない人も参加できる「ありのまま」。改めて地域や里山の懐の深さを感じた一日でした。
子どもも、大人も、すこし心が疲れたな…と感じたらぜひお気軽に遊びに来てください。



オタマジャクシ

今回おとずれたのはこちら↓

NPO 法人みんなの居場所ありのまま
住所：千葉県山武郡横芝光町栗山７０２-２
電話：０８０-９２０８-６７８９（担当内田）
メール：info@npo-arinomama.com
ホームページ：https://npo-arinomama.com

（ちば里山センター理事　松浦裕子）



チラシより

里山活動技能講習会【チェーンソー講習会（初級編と応用編）】

毎年実施しているチェーンソーの講習会を以下のとおり開催します。希望される方は、ちば里山センターホームページよりチラシをダウンロードして QR コードを読み取るか、ホームページ掲載されたアドレスにアクセスして申し込みください。

【チェーンソー講習会（初級編）】　基本の操作方法について重点的に学べます。
期日：11 月 23 日（月）10：00～15：30　雨天決行
場所：松戸市金ケ作「囲いやまの森」（松戸里やま応援団　囲山のもりの会　活動地）
京成電鉄松戸線常盤平駅から徒歩 10 分、駐車場無し
講師：林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部　鶴見　治氏
募集定員：１５名　申し込み締め切りは 11 月４日（水）

【チェーンソー講習会（応用編）】比較的に大きい木の伐採のためロープをかけて安全に倒す手順を学びます
期日：12 月５日（土）９：00～15：00　雨天の場合は 12 月 12 日（土）　場所：未定
受講条件：伐木経験がある労働安全衛生規則チェーンソーによる伐木等特別教育終了者
講師：平島 健一、赤松　義雄
募集定員：１０名　申し込み締め切りは未定

労働安全衛生規則チェーンソーによる伐木等特別教育の実施

昨年からちば里山センターの会員が受講しやすいように林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部（林災防千葉県支部）と相談して、土日実施（３日間）でお願いしています。申込は、林災防千葉県支部に、直接お願いします。なお、ちば里山センター会員からの申込数把握のため、お手数ですが、申し込まれた方は所属団体名と氏名をメール等で里山センターにお送りください。

1. 日　　時　11 月７日（土）、11 月 14 日（土）、15 日（日）　３日間
講習時間　　９：００～１６：２０　（８：５０までに集合）
2. 会　　場　千葉県木材市場協同組合会場（東金市山田 800）　　※駐車場有
3. 講習科目　学科教育（９時間）及び実技教育（９時間）
4. 募集人員　６０名（定員になり次第締め切らせていただきます）
5. 申 込 書　別紙申込書に所要事項を記入の上、写真（縦 3.0cm、横 2.4cm、カラー、無帽、正面、無背景、胸から上が写っているもの、裏面に氏名及び講習日を記入、コピー不可）を貼付し、申込み（郵送、持参も可）ください。申込者に受講票を送付しますので当日持参ください。
6. 申 込 先　〒283-0823　東金市山田 800　林災防千葉県支部　TEL　0475-53-0123
7. 講 習 料　26,000 円/税込（テキスト代３及び授業料）を１０日前までにお支払い下さい。
8. 振 込 先　林業・木材製造業労働災害防止協会　千葉県支部
口座名：林材業労災防止協会　　銀行名：千葉銀行 東金支店 普通預金 ３５０００６１

エコメッセちば 2026 に参加

10 月 11 日（日）（10：00～16：00）に幕張メッセ国際会議場で開催される「エコメッセちば」に、今年も里山センターで出店いたします。出し物は「里山すごろく」！です（他におまけも）。ほかにも様々な団体が出展しています。お子さん、お孫さんとぜひ遊びに来てください。

東葛里山シンポジウム 2nd、鎌ヶ谷市で開催へ

ちば里山センターでは令和７年度から里山カレッジを衣替えし、東葛里山シンポジウムを開催しています。

今年のテーマは 30by３０（2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として、効果的に保全する目標）です。自然共生サイトへの登録が里山活動にどのような意味を持つかを考えます。詳細は後日発表！

東葛里山シンポジウム2st「里山団体が取り組む自然共生サイト」
開催日：令和９年１月１０日（日）　10：30～11：30　　於：鎌ヶ谷市総合福祉センター大会議室
開催地：10:30～11:30　粟野の森の見学（オプションとして実施）
13:00～16:30　東葛里山シンポジウム2nd

里山じまん　㉙

椎の森里山会



椎茸榾木の駒打ち　20250324

椎の森里山会は平成１９年３月に発足し、来年度で２０年になろうとしています。発足当時より袖ケ浦市が所有する椎の森環境保全緑地を「水と緑の里」として月２回のボランティア活動を実際し、ゴミの撤去や下草刈り、散策路の整備等を行ってきました。



トウキョウサンショウウオの放流

平成２１年には市民に開放、自然観察会を年２回実施し、多くの一般市民に参加して頂き、近隣の小中学生にも貴重な里山体験をしてもらっています。また、体験活動として椎茸ホダギの駒打ち、ツル篭作り、蕎麦打ち体験、餅つき等、子供達には巣箱作り、トウキョウサンショウウオの放流を体験してもらいました。

また絶滅危惧種であるトウキョウサンショウウオにつきましては３月にイノシシ等に食べられないように事前に採取育成し幼生になった時点で放流しています。

椎の森ではフデリンドウ、チゴユリ、アカネスミレ、ヤマユリ、ノカンゾウ、キンラン、ギンラン、チダケサシ、ハンゲショウ、クサボケ、マメザクラ、ツリバナ、ウワミズザクラ等がありますが貴重植物として大事に保護育成しております。



遊歩道に作られた階段

そのほか、樹木の安全な伐倒研修も行われております。特にロープワークによる安全な伐倒研修に力を入れています。

（事務局長　赤松義雄）

つれづれごと

浸水被害や土砂崩れにより、不自由な生活を強いられている方も多いかと思います。この里山新聞がお手元に届く頃には天候が安定し、普段の生活が近づいているといいのですが。

(A.S.)

里 山 の 風 に ゆ ら れ て ㉟



アキノノゲシ＜秋の野芥子＞キク科アキノノゲシ属

中国・台湾・東南アジアに分布。稲作と共に渡って来た史前帰化植物である。淡いクリーム色の花弁は2cm ほどの舌状花である。レタスと同じアキノノゲシ属なので春には食べられるそうです。ノゲシの仲間でハルノノゲシ等もありますが、その中でも秋風に揺れるアキノノゲシの姿がもっとも風情があると思います。

写真・文　赤松義雄　R8.10.2　袖ケ浦市しいのもり

入会申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人　ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ケ浦市長浦拓２号 580-148 ☎0438-62-8895　FAX0438-62-8896(平日 9:00～17:00)

E-mail info@chiba-satoyama.net　　ホームページ　https://chiba-satoyama.net/